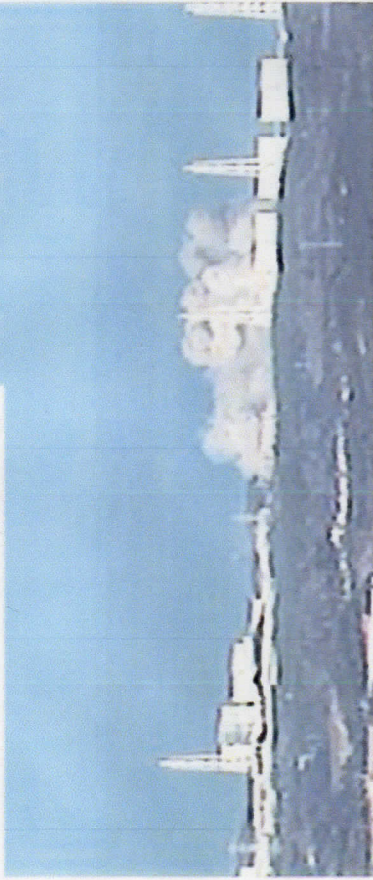


2011.3.12.水素爆発

事故がもっとも大きかった瞬間  
怒号と絶望 緊迫官邸に黒電…復讐再演



2011.3.12.核爆発

事故がもっとも大きかった瞬間



### 【福島3号機爆発が核爆発である証拠】

1. ピカッと光った後の黒煙(きのこ雲)vs水素爆発は、水蒸気の断熱膨張(白煙)
2. 飯館村、米国まで飛散したプルトニウム。
3. 屋根フレーム鉄骨が鉛細工のようにひん曲がっている。vs、水素爆発(福島1号・4号)の場合は、超高温にはならず、発生熱量も小なく、フレーム鉄骨自体は曲がらない。
4. 福島3号の使用済燃料プール床面に燃料被覆管破片が発見された(無人ヘリコプター撮影 vs、水素爆発の場合は、水中にある使用済み燃料は無傷)。
5. 福島3号きのこ雲からの落下瓦礫により3号タービン建屋屋根に大穴2個(直径14mと直径4m)。屋根修理の作業員が12mSvの被ばく。vs、水素爆発では、大量放射能なし
6. 2013年7月23日、24日に、東電が、福島3号機コンクリートシートシールドプラグ周辺の雰囲気線量測定し、最大値 2,170mSv/時を確認した。高放射線源の場所は、コンクリートシートプラグ上の瓦礫集積場所であった。コンクリートシートプラグ上の瓦礫は、使用済燃料プール核爆発で生じたものと推定できる。高放射線源は、瓦礫中の核燃料ペレットである可能性大。